慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫昭和四十五年度彙報
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1970
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.9 (1970.) ,p.395- 397
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000009-0395

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学附属研究所

斯道文庫昭和四十五年度彙報

人事

四十五年四月一日を以て、専任講師平沢五郎君は助教授に昇格、また大沼晴暉君が図書係の事務嘱託（常勤）に任命された。

文庫長森武之助君の任期が九月末日を以て満了したが、重任された。

研究嘱託酒井健彦君は四十六年三月末日（二ケ年在職）を以て退職した。

助教授太田次男君はかねて本塾大学院文学研究科に提出中の「平安末鎌倉時代に於ける注釈書並に選抄本よりみたる白氏文集受容に関する研究」の論文によって、九月十六日文学博士の学位を授与された。

文庫委員会

六月二十六日正午より、図書館記念室に於て開き、文庫長より四十四年度事業概要、四十四年度収支決算、四十五年度予算を報告し、四十五年度研究計画及び来る十二月一日の本文庫創立十周年の記念事業について説明し、審議の上承認。九月十八日正午より図書館記念室に於て開き、文庫長任期満了につき、後任文庫長推薦に関し審議した結果重任に決定。

十一月十八日正午より図書館記念室に於て開き、文庫員昇任の人事、教授阿部隆一、専任講師尾崎康両君の中華民国出張の件を決定した。

文庫創立十周年記念祝典

今年は本文庫創立十周年にあたるので、創立日の十二月一日午後四時より図書館記念室に於て、その記念祝典を行なった。森文庫長の挨拶に始まり、塾長代理大江常任理事の挨拶、来賓代表の東洋文庫専務理事榎一雄氏の祝辞があり、麻生太賀吉・細川護貞・門野雄吉・神崎丈二・坂巻善一郎・塩山豊蔵・田中文雄氏等の文庫賛助員会員及び東洋学関係者約六十名が出席した。なお十二月一日より四日まで、図書館陳列室で「創立十周年記念近蒐善本展覧会」を催し、この十年間に新に収蔵せる和漢の善本一四〇部を展観し、その解題目録を編纂発行した。

研究調査

前年度に引き続き左の研究題目を中心として、調査研究と副本作成を進めた。

(1)我が国古典に関する室町以前成立の注釈書並に室町物語類

（担当者　松本隆信・平沢五郎）

(2)室町以前の日本漢学資料

Ⓐ邦人撰述漢詩文集類

Ⓑ邦人撰述漢籍注釈書類

Ⓒ日本現存漢籍古写本の綜合的研究

（担当者　阿部隆一・太田次男・

尾崎康）

特に本年度に於ける各文庫員の研究調査題目は左の如し。

一、古文尚書・三略・六韜古写本の研究　阿部隆一

一、室町以前本邦伝存漢籍資料類の調査　太田次男

一、室町以前に於ける白氏文集受容についての研究　松本隆信

一、室町時代物語の研究　平沢五郎

一、金葉和歌集諸本の研究　尾崎　康

一、六朝隋唐時代撰述史書の研究　阿部隆一・尾崎康

一、本邦現存漢籍古写本の調査　白石克・酒井健彦

一、漢籍引用の多い鎌倉以前に成立せる国書に於ける引書索引並に証注

一、日本旧刊本（古刊経・五山版）の研究

協同研究の「聖徳太子伝暦」の輪読研究会は毎週行なわれ、今年度は特に十七条憲法の本文・訓読について諸本間の比較校勘を行ない、その研究成果を「斯道文庫論集」第十輯に公刊することにした。

昨年度より開始せる中華民国（台湾）現存漢籍善本の調査及びそのマイクロ・フィルムの将来の研究計画（担当者阿部隆一・尾崎康）については、三島海雲記念財団より本文庫に対し、昭和四十五年度学術奨励金九十万円が授与され、またハーバート大学燕京研究所より、教授阿部隆一君に対し一九六九～七〇年度の研究補助金八十万円が交附された。後記の台湾出張により、本計画の主眼とせる楊守敬旧蔵の故宮博物院観海堂蔵本等の日本旧鈔・旧刊・日本人手校書入の漢籍類についてはほぼその調査を完了し、そのマイクロ・フィルムが故宮博物院より漸次到着しつつある。

文庫員が右の研究題目に関連して、本

年度に於て公表せる研究成果は次の通りである。

阿部隆一　三略源流考附三略校勘記・擬定黄石公記佚文集（「斯道文庫論集」第八輯）

太田次男　真福寺蔵新楽府注にみえる教訓と武家社会（「史学」四十三巻第一・二合併号）

松本隆信　大東急記念文庫蔵白氏文集金沢文庫本の復元について（上）（「かがみ」十五号）

平沢五郎　影印室町物語第二輯・第三輯二冊（東京・汲古書院発行）

尾崎康　金葉和歌集二度本攷(二)――伝甘露寺経元本等数本に就いて――（「斯道文庫論集」第八輯）

白石克　千宝晋紀考（「斯道文庫論集」第八輯）

酒井健彦　現存普済寺版について（追録）（「書誌学」復刊新十九号）

「普済寺版」五部大乗経の出版事情に関する一考察（「書誌学」復刊新二十号）

調査出張

上記の研究課題に関する諸本の調査及び複写撮影のため、都内及び近傍の諸所に出張したが、主な地方出張をあげれば、

四月六日―十日　伊勢市神宮文庫・名古屋市蓬左文庫蔵書調査並複写　出張者　松本隆信

十二月十七・十八日　名古屋市蓬左文庫・大阪市四天王寺蔵書調査並複写　出張者　阿部隆一

二月十六日―十八日　京都大学　蔵書調査　出張者　森武之助

海外出張

中華民国（台湾）現存漢籍善本調査並にそのマイクロフィルム複写の為めに、阿部隆一・尾崎康両君は二月十日出発して台北に出張、国立故宮博物院・国立中央図書館に於て調査をなし、尾崎君は三月十八日、阿部君は四月二十四日帰国した。

図　書

四十六年三月末現在、その整理を完了し、登録せる本年度の図書増加数は、一九三九冊、うち寄贈書は八六冊、斯道文庫賛助員会寄附金による購入本は二七冊、累計八七七一九冊、他に寄託図書二万八千冊、計十一万五千七百十九冊。本年度の逐次刊行物の増加数は六種である。

本年度の主な寄贈者（定期刊行物を除く）の芳名を左に録して、感謝の意を表する。

亀山聿三殿　塩山豊蔵殿　蓬左文庫殿　横山重殿　長沢規矩也殿　中華民国国立台湾大学殿　同国立故宮博物院殿　同国立中央図書館殿　大阪府立図書館殿　京都大学人文科学研究所殿　天理図書館殿　内閣文庫殿　岡山大学附属図書館殿　水府明徳会彰考館殿　大和文華館殿

本文庫賛助員会寄附金による主な購入本は、慶長古活字版の老子一冊、本朝文粋六冊、尚書四冊、旧鈔本の荘子二冊、論語一冊、胡曾詩注二冊等である。

文献複写

マイクロフィルムによる副本作製は、公私の文庫所蔵本について行ない、その全巻を撮影せる現蔵量は三月末現在整理登録を完了せるもの、本年度増加数は、百呎ネガフィルム一九リール、累計百呎ネガフィルム五〇六リール、同ポジフィルム四〇三リールに達した。

この撮影は本文庫の研究事業計画に賛意を表され、貴重なる御所蔵本の複写を許可された所蔵者各位の厚意によるもので、その主な芳名を録して、感謝の意を表する。

神宮文庫殿　蓬左文庫殿　四天王寺殿

刊行事業

一、斯道文庫論集　第八輯　A5判三二〇頁、十二月一日発行

一、創立十周年記念近蒐善本展観書目録　B6判四八頁、十二月一日発行